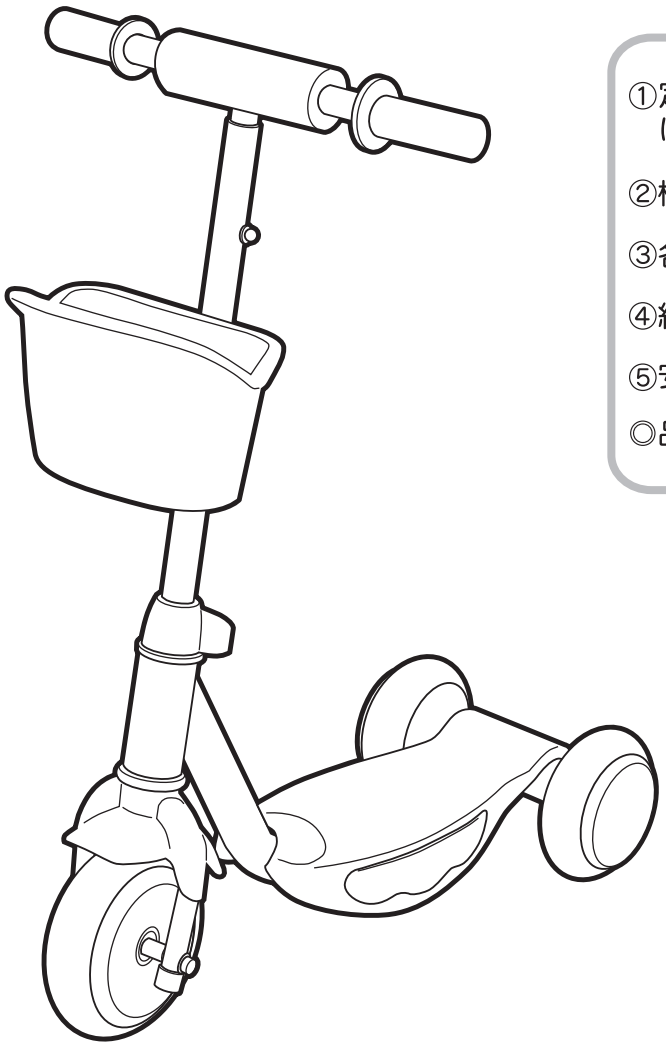
大切なお子様の安全のために正しくお使いください。

スクーター

取扱説明書



目次

①定義とシンボルマーク
について ・・・・・・・・・・・・・・・ P1

②梱包内容 ・・・・・・・・・・・・・・・ P1

③各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・ P1

④組み立て方 ・・・・・・・・・・・・ P2,3

⑤安全上の注意事項 ・・・・・・・ P4

◎品質保証書 ・・・・・・・・・・・・・ P5

お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は必ずお読みいただき、安全上の注意事項を良くご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取り扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書をいつでも参照できるように大切に保管してください。

ides

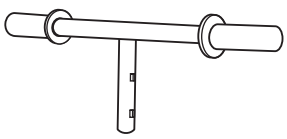
❶定義とシンボルマークについて

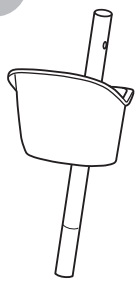
この取扱説明書では、以下のような内容が「警告」、「注意」として記載されています。

⚠警 告 **身体に関する危険**
守らないと人身事故が発生したり、創傷や火傷の可能性がある。

注 意 **財物や商品本体に関する危険**
守らないと財物や商品本体の損傷の可能性がある。

❷梱包内容


ハンドル：1


ハンドル縦パイプ
(バスケット付)：1

フォーク：1

本体フレーム：1

ドロヨケ：1

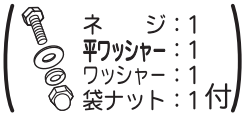
取扱説明書：1

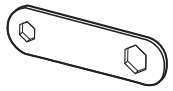
ハンドルパッド：1

カバーキャップ：1

ヘッド
ワッシャー：1

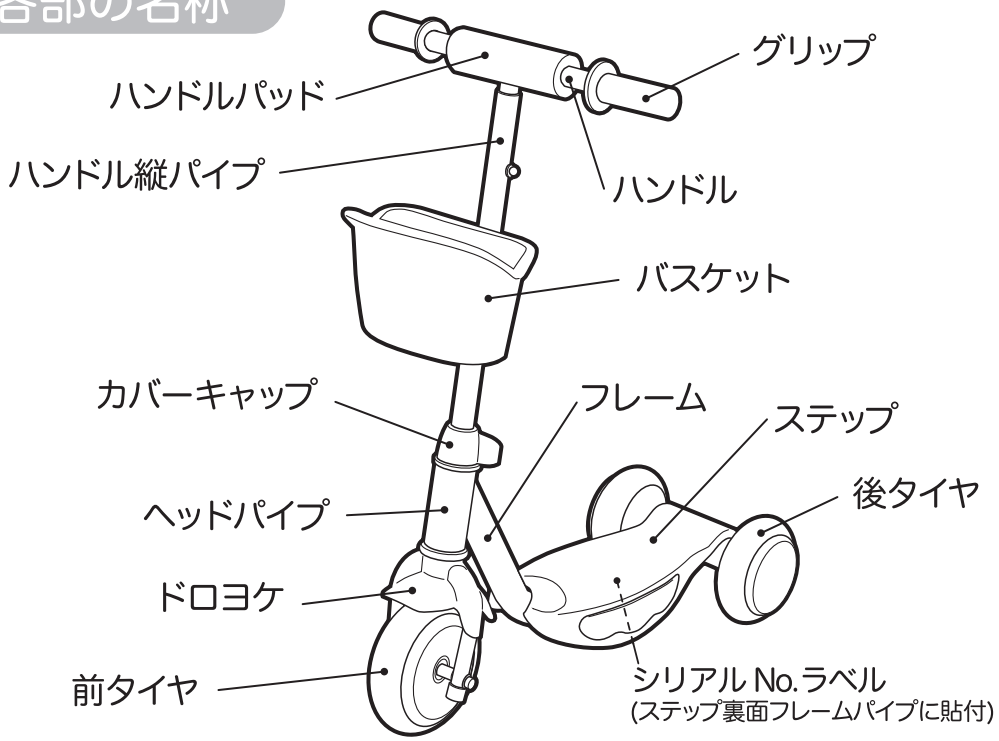
締め付け金具：1




スパナ（工具）：1

角根ネジ：1
平ワッシャー：1
スプリング
ワッシャー：1
袋ナット：1

❸各部の名称



【材質】
グリップ：ノンフタル酸 PVC
ハンドルパッドカバー：ノンフタル酸 PVC
バスケット：PP
ハンドルパイプ：スチール
カバーキャップ：PP
ドロヨケ：PP
ステップ：PP
ホイールカバー：PP
タイヤ：ノンフタル酸 PVC
フレーム：スチール
フォーク：スチール

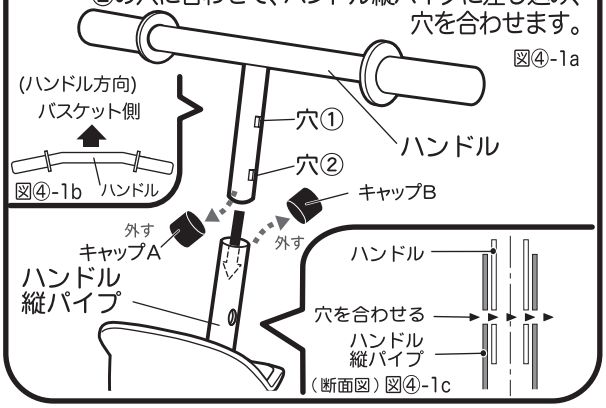
④組み立て方

●本商品に付属しているスパナ(工具)は簡易工具です。市販の工具をお持ちの方はそちらの工具での組み立てをお奨めします。
尚、付属している工具以外で締め付ける場合は締め過ぎに注意してください。袋ナットの頭が取れることがあります。

①

ハンドルとハンドル縦パイプのキャップA,Bを外してから、ハンドルの高さを調節します。
ハンドルを低く設定する場合は①、高くする場合は②の穴に合わせて、ハンドル縦パイプに差し込み、穴を合わせます。

図④-1a

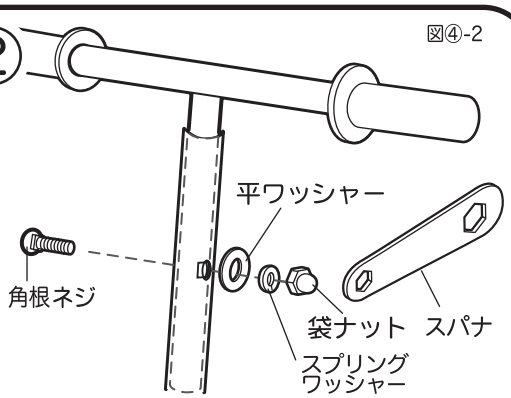


図④-1b

(断面図) 図④-1c

②

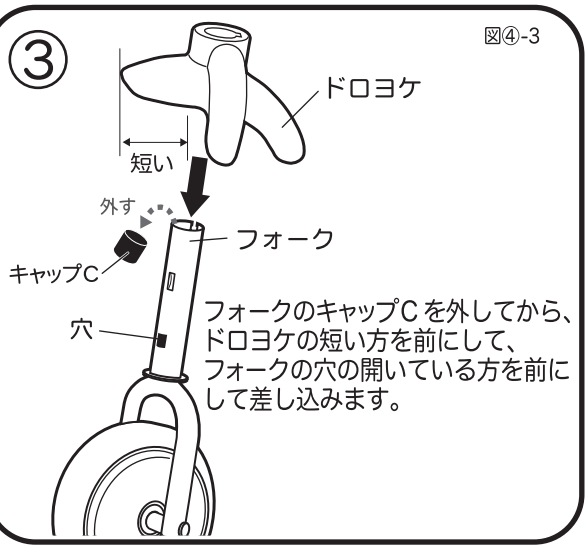
図④-2



ハンドル縦パイプの穴に角根ネジを差し込みます。
角根ネジに平ワッシャーとスプリングワッシャーを通し、袋ナットを角根ネジにかぶせスパナで締め付けます。

③

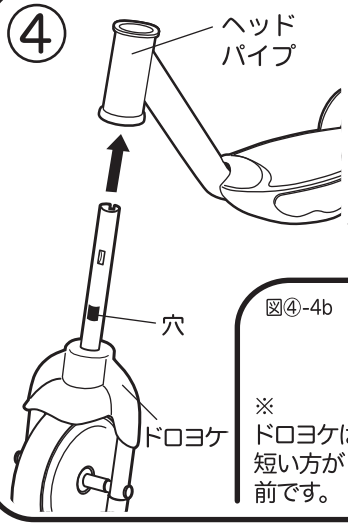
図④-3



フォークのキャップCを外してから、ドロヨケの短い方を前にして、フォークの穴の開いている方を前にして差し込みます。

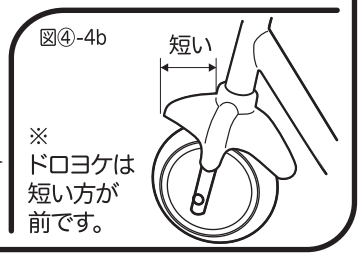
④

図④-4a



フォークの穴の開いている方を前にしてヘッドパイプを差し込みます。

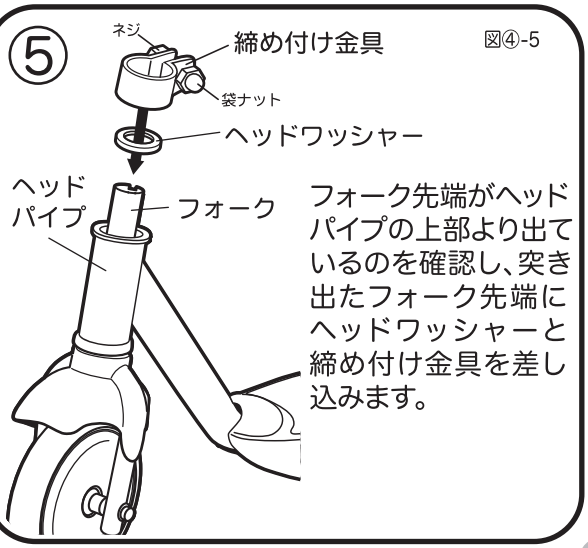
図④-4b



※
ドロヨケは
短い方が
前です。

⑤

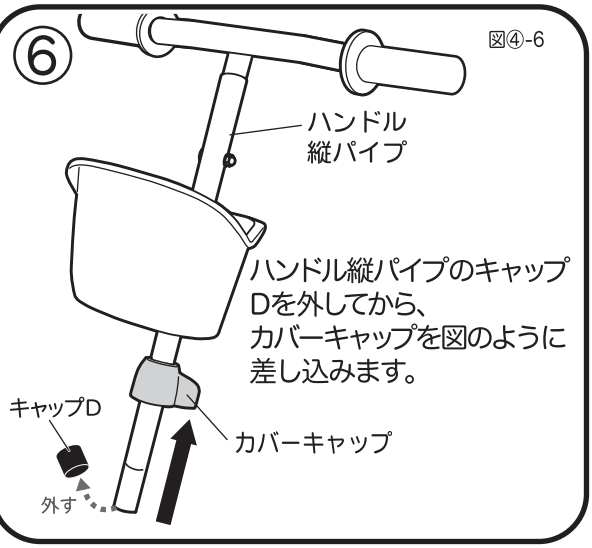
図④-5



フォーク先端がヘッドパイプの上部より出ているのを確認し、突き出たフォーク先端にヘッドワッシャーと締め付け金具を差し込みます。

⑥

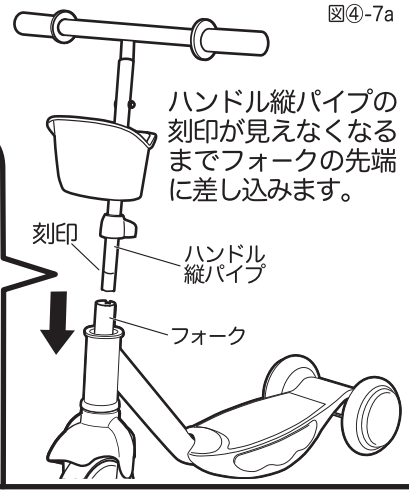
図④-6



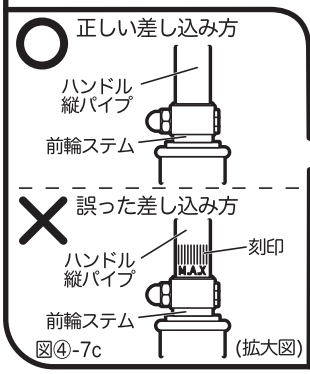
ハンドル縦パイプのキャップDを外してから、
カバーキャップを図のように差し込みます。

⑦

図④-7a



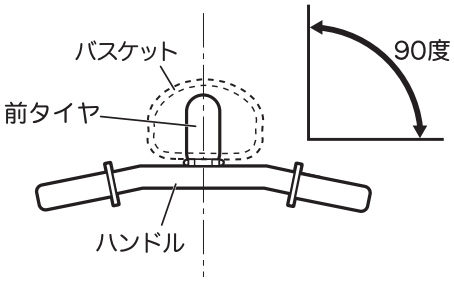
ハンドル縦パイプの刻印が見えなくなるまでフォークの先端に差し込みます。



図④-7c (拡大図)

図④-7b

差し込むときは、ハンドルと前タイヤとの角度を直角(90度)に合わせてください。

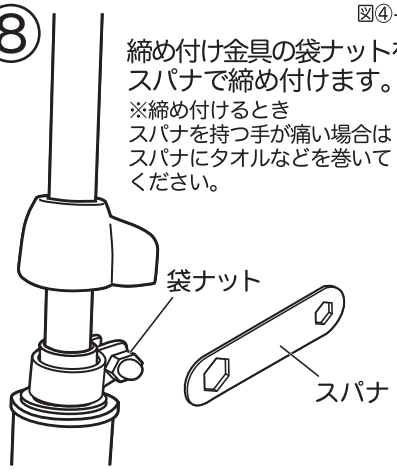


⑧

図④-8a

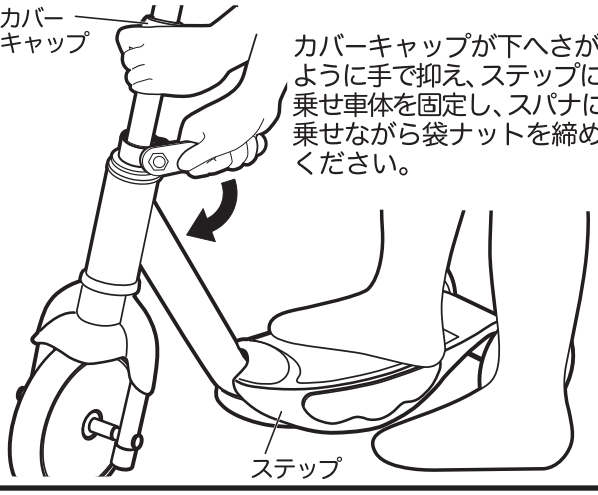
締め付け金具の袋ナットをスパナで締め付けます。

※締め付けるとき
スパナを持つ手が痛い場合はスパナにタオルなどを巻いてください。



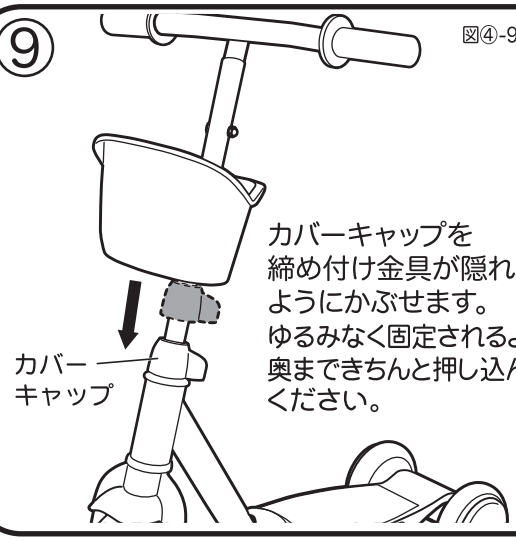
図④-8b

カバーキャップが下へさがらないように手で抑え、ステップに片足を乗せ車体を固定し、スパナに体重を乗せながら袋ナットを締め付けてください。



⑨

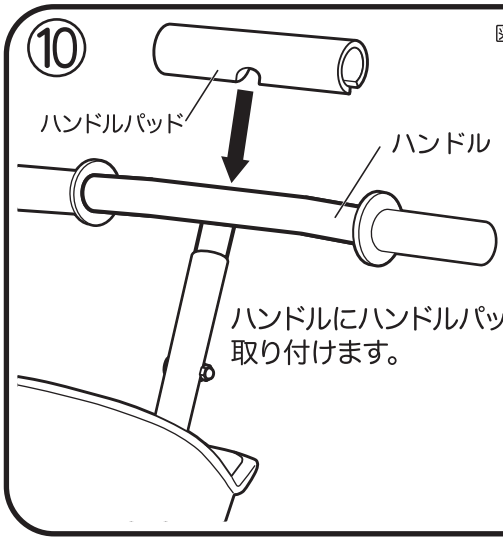
図④-9



カバーキャップを締め付け金具が隠れるようにかぶせます。
ゆるみなく固定されるよう奥まできちんと押し込んでください。

⑩

図④-10



ハンドルにハンドルパッドを取り付けます。

※最後に「各部にゆるみがないか。」「車輪は円滑に回るか。」などの安全を確認し、完成です。

⚠警 告 ・小さな部品があります。組み立てる際、誤飲の危険がありますのでお子様がそばにいない状態で行ってください。

⑤安全上の注意事項

保護者の方へ　必ずお読みください。

対象年齢：3歳から6歳未満
体重制限：30kgまで

本商品は、幼児用乗り物です。
安全のため、必ず下記の事項を守ってください。

ひにちかづけない

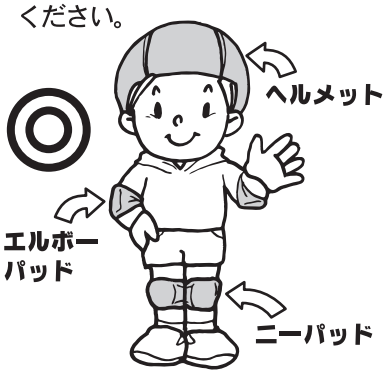
おとなといっしょ

みずにぬらさない

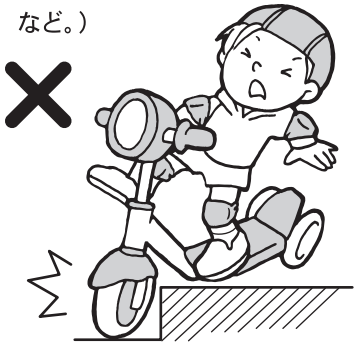
⚠ 警　告

●本商品でお子様が遊ぶ場合、保護者が必ずそばについて安全を確保してください。
●走行速度は「歩く程度以下」を守ってください。
●平らな場所で使用してください。
●使用が禁止されている場所では、使用しないでください。
●公道では使用しないでください。
●雨の日、路面がしめっているときは使用しないでください。
●車輪の周囲や回転部分には、手や足を入れないでください。
●小さな部品があります。組み立てる際、誤飲の危険がありますのでお子様がそばにいない状態で行ってください。
●バスケットには、あまり重いものを入れないでください。転倒、破損の恐れがあります。
●スクーターの用途以外には使用しないでください。
●自転車、オートバイ、自動車などで引っ張って使用しないでください。
●スクーターの各部品は消耗品です。必要に応じて販売店で交換してから使用してください。
●使用前には必ず手入れ、点検を行ってください。故障及び破損したまま使用しないでください。
●長い間のご使用中にネジがゆるむことがあります。お手数でも締め直してください。

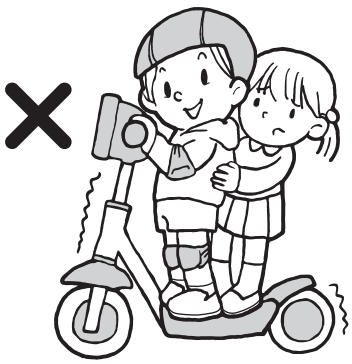
● ヘルメット、ニーパッド、エルボーパッドなどの保護具を使用してください。



●危険な場所では、絶対に使用しないでください。（坂道、凸凹面、段差の激しい路面、溝の近く、障害物のある場所など。）



●2人乗りなどの危ない乗り方は絶対にしないでください。



注　意

●屋外で使用された後は、直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
●火気のあるところ、高温の場所には近づけないでください。
●砂場や水たまりで使用しないでください。